



研究機関名	京都大学		
プログラム名	桜島の噴火を測ろう！		
先生(代表者)	中道治久(なかみちはるひさ)・防災研究所・准教授		
自己紹介	物理の方法で測ることで富士山や御嶽山といった国内の火山とインドネシアの火山の研究をしてきました。鹿児島に住んで7年になり、今は桜島火山や口永良部島火山といった頻繁に噴火する火山で、噴火を測る研究をしています。		
開催日時・募集対象	2020年 10月18日(日)	受講対象者	小学校 5・6年生, 中学生, 高校 1年生 募集人数 10名
集合場所・時間	京都大学防災研究所桜島火山観測所	(集合時間)	12:45
開催会場	京都大学防災研究所火山活動研究センター・桜島火山観測所 住所: 〒891-1419 鹿児島県鹿児島市桜島横山町1722-19 アクセスマップ URL: http://www.svo.dpri.kyoto-u.ac.jp/svo/ アクセス		
内 容			
<p>桜島は年がら年中噴火しています。天気予報で桜島の噴煙の流れる方向の予報が出ています。そして、鹿児島市街地に火山灰が降ってきて、積もることもおおく、人々は火山灰の掃除をしています。噴火は日頃の生活の一部となっていますが、火山学の最先端の「噴火を測る」研究の一端を学びませんか？</p> <p>噴煙の予報は数値シミュレーションにて行われます。噴煙は雨雲レーダーで測ることが出来ます。火山灰はよく見ると粒子の大きさが異なり、丸くなく扁平したり尖っていたりしています。火山の観測をしている現場を見ながら、学びましょう。</p>			
持 ち 物		特 記 事 項	
筆記用具, カメラ(スマートフォン可)		火山灰を触りませんので、汚れても問題のない服装にてお越しください。	
スケジュール			

12:45～13:00 受付(集合場所:京都大学防災研究所桜島火山観測所)

13:00～14:00 桜島火山観測所の見学会

14:10～14:50 火山灰予測シミュレーション・レーダー観測に関する講義
桜島火山観測所における実習

1. 15:00～15:50 火山灰サンプルの落下を光学式ディストロメーターで測定する実習
2. 16:00～16:50 デジタルマイクロスコープを用いて火山灰の形状を測定する実習

17:00 終わりの挨拶

17:10 終了・解散

課題番号	20HT0154	分野	地学・物理	キーワード	火山, 噴火, 噴煙, 火山灰
------	----------	----	-------	-------	-----------------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	京都大学防災研究所火山活動研究センター・中道治久
住所	鹿児島県鹿児島市桜島横山町1722-19
TEL番号	099-293-2058
FAX番号	
E-mail	hirameki@svo.dpri.kyoto-u.ac.jp
申込締切日	2020年9月4日(金)
<p>当プログラムは定員を超えた場合は申込締切日後に抽選を行います。抽選結果は9月18日(金)までに郵便(またはメール)にて全員にご連絡します。</p>	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2018年度 ~ 2021年度	基盤研究(C)(一般)	18K03781	火山構造性地震によるマグマ貫入量と噴火時刻の推定手法の確立に向けての試み
2016年度 ~ 2017年度	挑戦的萌芽研究	16K12849	典型的監視データと気象レーダーを用いた噴火規模強度に関する指標の即時決定法の確立
2008年度 ~ 2009年度	若手研究(B)	20740253	脱ガスに着目した噴火未遂におけるマグマ上昇停止過程の地震学的研究



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000000420373>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。